

議会だより

vol.34
2013. 11. 1



小学校陸上記録会

第3回定例議会 〈9月9日～9月24日〉

平成24年度歳入歳出決算	P2～P3
議案に対する主な質疑・討論	P4～P5
提出議案の審査結果	P5
一般会計9月補正予算	P6
一般質問 16議員が町政を問う	P7～P15
がんばってます！（本地保育所・新庄保育所）.....	P15・P16

平成24年度歳入歳出決算

合計 221億7,847万円

定例会において、「決算審査特別委員会」が設置され、一般会計歳入歳出決算の認定など13議案について審査を行いました。採決の結果すべての議案を「認定」することに決定し、本会議においても賛成多数で可決されました。

▼平成24年度 北広島町会計別決算総括表▼

会計名	歳出決算額
一般会計	152億1,682万円
国民健康保険特別会計	22億7,244万円
下水道事業特別会計	6億6,289万円
農業集落排水事業特別会計	3億5,476万円
介護保険特別会計	25億1,933万円
簡易水道事業特別会計	3億 435万円
電気事業特別会計	4,577万円
芸北財産区特別会計	51万円
診療所特別会計	1億5,831万円
情報基盤整備事業特別会計	3億7,355万円
後期高齢者医療特別会計	2億6,974万円
合計	221億7,847万円
水道事業会計収益的収入	1億6,157万円
水道事業会計収益的支出	1億3,280万円
豊平病院事業会計収益的収入	7億4,942万円
豊平病院事業会計収益的支出	7億8,164万円

▼平成24年度 決算健全化判断比率

(単位：%)

区 分	決算健全化比率				早期健全化基準	財政再生基準
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
実質公債費比率	22.3	20.6	19.0	17.5	25.0	35.0
将来負担比率	183.6	165.7	137.2	119.5	350.0	—

実質公債費比率について

- ・平成24年度は17.5%となり平成23年度と比較し1.5%改善している。平成25年度18%未満の目標を1年前倒しで達成した。

将来負担比率について

- ・平成24年度は119.5%で、早期健全化基準350.0%を下回っており、順調である。

※実質公債費比率とは…

地方債の元利償還金が財政に及ぼす負担を示す指標である。18%以上になると起債の発行に国の許可が必要となる。25%以上になると一般事業等の起債が制限される。

※将来負担比率とは…

公社や出資法人も含め、自治体が将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率で、350%以上になると早期健全化団体となる。

▼平成24年度町税決算状況

区 分		調定額	決算額	徴収率	不納欠損額
町民税	個人	7億3,352万円	6億9,856万円	95.2%	393万円
	法人	2億2,384万円	2億2,193万円	99.1%	95万円
固定資産税		16億1,855万円	15億2,349万円	94.1%	3,692万円
軽自動車税		6,325万円	6,105万円	96.5%	21万円
町たばこ税		1億2,343万円	1億2,343万円	100.0%	0
入湯税		867万円	727万円	83.9%	0
合 計		27億7,126万円	26億3,574万円	95.1%	4,200万円

※四捨五入のため合計が一致しない場合があります。

平成24年度収入総額は前年度より887万円の減となっている。固定資産税7,902万円の減が大きく影響している。調定額に対する徴収率は全体で95.1%であり、前年度より0.3%向上している。町税行政として税の賦課、徴収は公正公平が原則であり、事務処理の適正化には引き続き努力が求められる。

※不納欠損とは…

滞納になった税金や使用料などが時効などにより徴収できなくなったため請求権を消滅・放棄すること。

議案に対する主な質疑・討論

平成24年度各決算に 対する主な質疑

士と協議しているか
行っている

答

問 公共施設等のバ
リアフリー化の進
捗は

問

答 町有住宅のエレ
ベーター設置計画は
基金設置など予
算を検討し協議する

答 障害者団体など
の要望をとらえ、
未着手には早急に対応
する

問 老朽化した千代
田中央公民館の今
後は

答 近い将来建て替
えが必要

答 検討するがすぐ
にはいかない

問 道の駅の産直出
荷システムは今後
どうするか

答 町の事業として
継続する

問 消防団員の欠員は
平成24年度で33人
あたり11・9円で10
年契約

問 小水力発電所の
売電単価は

答 1キロワット時
当たり11・9円で10
年契約

問 きたひろネット
の料金引き下げ、全
戸接続は

答 検討している

問 公民館使用料の
4時間単位を見直
す考えは

答 公民館使用料の
4時間単位を見直
す考えは

討論

平成24年度 一般会計決算の認定

反対討論

美濃 孝二

第一は、道の駅・舞
ロードIC千代田の「太
鼓」「豪華な舞台」「レス
トラン」を含む建設は
町民の批判と怒りを広
げたもの。第二は、全
町民が利用できず、毎
年赤字の温水プールの
設計費が含まれている。
これはきつぱり見直し、
学校プールの優先を。
第三は、不公正な行政
として部落解放同盟へ
の補助金52万円が含ま
れている。これを廃止
し必要なら一般行政に
移すべき。

※美濃議員はその他、
国民健康保険、下水
道事業、介護保険、
後期高齢者医療保険
など各特別会計決算
の認定に反対討論を
行いました。

一般会計補正予算 (第4号)

反対討論

大林 正行

問 宝調査事業の目
的となぜ年度途中
事業か

答 地域の宝を掘り
起し将来に継承
するためであり、ある程
度期間が必要

問 「宝事業」は選挙
で訴えたとはいえ
町民が認めたものか

答 全員賛成と思っ
ていない。初年度試
行しその後意見を聞き
変えることもある

問 宝調査事業は箕野町
長の公約であり早急に
実行する責任がある。ま
た町の宝を発掘し、若い
世代に引き継ぐことは、
郷土に誇りと自信を持
つとともに、他地域の人々
にPRすることで観光
客も増え町の活性化に
つながるので削除に反
対である。

賛成討論

中田 節雄

この事業については、
必要性、緊急性、具体性
に欠けており、調査完了
後の活用戦略も乏しく、
事業としての熟度が低い。
この事業に3年間で1
900万円の単町費を
使うことはできない。よ
ってこの修正動議に賛
成する。

修正動議に対する討論

【修正動議】

「北広島町の宝」調査事
業は、箕野町長の選挙公
約であるが、事前に町民・
議会に詳しい説明がない。
目的と成果も明確でなく、
「北広島町の達人」との
違いや整合性もはつき
りしない。
よって本事業は削除し、
予算は予備費に入れる
修正動議を提出する。

一般会計補正予算(第5号) 温水プール債務負担 行為補正

問 学校センタープ
ール化で中学校は
どうするのか

答 必修ではないが
必要である

問 冬の生徒の送迎は
3校ではないが、
全校になれば考え
ていかねばならない

問 一般利用者及び
学校プールとして
の送迎費用の概算は
まだ算出してい
ない

反対討論

美濃 孝二
入札に参加する業者
が少なかつたため増額
するものだが、1億円も
の巨額なお金を追加投
入することは、到底市民
の納得を得るものでは
なく、将来にわたって大
きな禍根を残す。

賛成討論

梅尾 泰文
適正な価格である。温
水プールについて八重
東小、壬生小、千代田中
にはプールがなく、つく
るのであればオールシ
ーズにすべき。さらに
一般開放し健康である
ために必要である。

提出議案の審査結果

平成25年9月定例議会

○賛成 ●反対

議案名	議員名														審査結果			
	浜田	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	柿原	室坂	中村	伊藤	真倉	藤井	蔵升	田村		美濃	大林	宮本
平成24年度 一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	可決
国民健康保険特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	可決
下水道特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	可決
介護保険特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	可決
電気事業特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	可決
情報基盤整備事業特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	可決
後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	可決
水道事業会計未処理利益剰余金の処分及び決算	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
課設置条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	可決
児童医療費支給条例の改正	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度 一般会計補正予算(第4号)…「宝調査事業」削除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算(第5号)…温水プール債務負担行為	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は採決に加わりません

【全員一致で可決した議案】

- 平成24年度 農業集落排水事業特別会計決算
- 平成24年度 簡易水道事業特別会計決算
- 平成24年度 芸北財産区特別会計決算
- 平成24年度 診療所特別会計決算
- 平成24年度 豊平病院事業会計決算
- 子ども・子育て会議設置条例
- 税条例の改正
- 国民健康保険税条例の改正
- 乳幼児医療費支給条例の改正
- 町道の路線の認定
- 平成25年度 下水道事業特別会計補正予算
- 平成25年度 国民健康保険特別会計補正予算
- 平成25年度 農業集落排水事業特別会計補正予算
- 平成25年度 介護保険特別会計補正予算
- 平成25年度 簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成25年度 電気事業特別会計補正予算
- 平成25年度 診療所特別会計補正予算
- 平成25年度 後期高齢者医療特別会計補正予算
- 平成25年度 水道事業会計補正予算
- 発議 「森林吸収源及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書
- 発議 議会委員会条例の改正(商工観光課の所管)

請願・陳情等の審議・採択

件名	請願陳情者名	審査結果
請願第1号 北広島町土橋地区における産業廃棄物等の埋め立て工事等に反対する請願	土橋地区ふる里を守る会 代表 小川幸則 他	採 択
請願第2号 T P Pからの撤退を要求する請願	農民運動広島県連合会 委員長 杉本隆之	継続審査
陳情第5号 横断歩道設置を求める陳情	地縁団体 都志見団地会 会長 見田秋夫 他	採 択
陳情第6号 「森林吸収源及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書採択に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	採 択
要望第3号 平成25年度及び平成26年度理科教育設備等に関する要望書	全国小学校理科研究協議会 会長 永田 学 他	採 択

平成25年度
9月補正予算

一般
会計

3億円を計上

9月一般会計補正予算に対する修正動議が提出され、賛成多数で可決されました。修正内容は、北広島町の宝調査事業費169万円を削除し、同額を予備費に計上するものです。

▼一般会計9月補正予算の概要

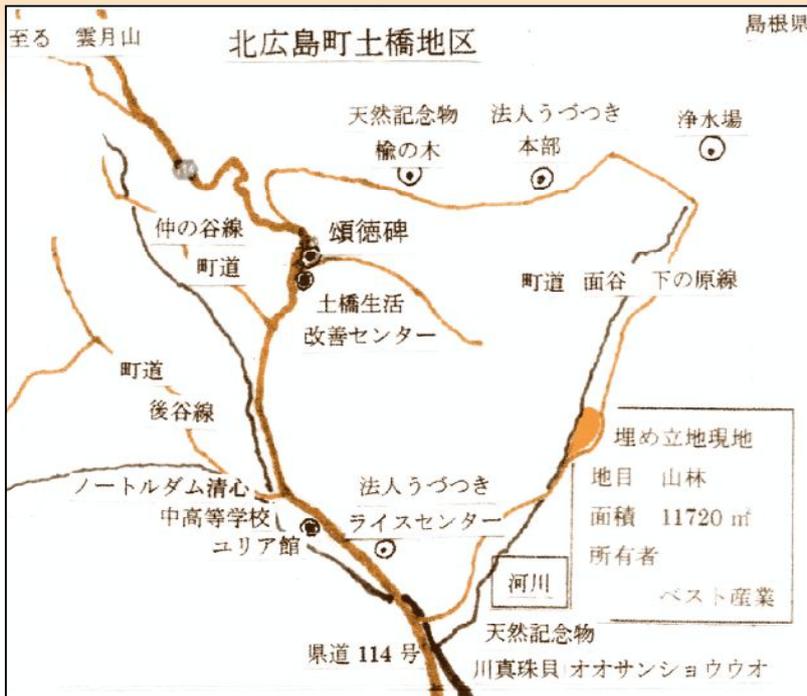
- 豊平3小学校の解体工事費 1億9,089万円
- 災害復旧事業費 4,266万円
- 大朝大塚集会所新築工事費 3,328万円
- 企業立地奨励金(太陽光発電) 3,297万円
- バス運行補助金の追加 1,600万円
- 温水プール建設費増額
(平成26年債務負担行為) 8,800万円



旧大塚小学校



メガソーラー



土橋地区に建設予定の産業廃棄物処分場に対し、「土橋地区ふるさとを守る会」代表小川幸則氏から129人の署名を添付し産業廃棄物処分場建設反対の請願が提出され、全会一致で採択しました。
(紹介議員 宮本裕之)

北広島町土橋地区における産業廃棄物等の埋め立て工事等に反対する請願を採択

請願第一号

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
7	室坂 光 治	町道大畠今吉田線道路拡張について	11	柿原 徳 則	職員数の合理化について
		国道433号線獅子岩付近について			
8	藤堂 修 壮	町花町木の制定は	12	大 林 正 行	危険な国道261号線の安全対策を問う
		悪臭問題の早期解決を			
8	蔵 升 芳 信	町民に期待・信頼される町職員に	12	森 脇 誠 悟	地域の元気・婚活に向け、若者がより活発に活動できるしくみづくりが必要ではないか 不妊治療・不育症治療の助成を
9	宮 本 裕 之	ネグレクト(育児放棄)の現状と親子健康手帳への移行を問う	13	中 田 節 雄	道の駅オープンに向けて体制は整うのか 合併10年後の地方交付税の特例縮減への対応は
		地域と環境を守る「水源の里条例」の制定を			
9	梅 尾 泰 文	体育施設は整備・充実しているか	13	美 濃 孝 二	温水プールアンケート結果をどう受け止めるか 待ったなしの集落対策、抜本的強化を 町長は北広島町を壊滅させるTPPからの撤退の先頭に
		有害鳥獣対策は有効に成果が上がっているか 交通体系の充実を			
10	中 村 勝 義	防災無線ときたひろネットのあり方を問う	14	浜 田 芳 晴	道路の長寿命化対策は
		道の駅産直・物販農産物の生産力強化策を問う			
10	真 倉 和 之	施政方針について問う	14	久 茂 谷 美 保 之	人口増加の政策は デマンドバスの営業時間の見直しは
11	藤 井 勝 丸	道の駅「舞ロード」の管理運営について	15	田 村 忠 紘	実質公債費比率と財調の中期(5年)見直しは 林道海応寺線を観光用道路として整備を

9月定例議会
一般質問

16議員が町政を問う

どうする?
私たちの町づくり



室坂 光 治

問 町道大畠今吉田線の道路拡幅はされておらず、一部未買収と聞いている。吉木から今吉田への重要路線であるため、早期に着手すること。また、工事の計画はいつごろなのか。

答 建設課長

本計画について町道戸坂今吉田線と町道大畠今吉田線の二路線が計画に上がっており、現在戸坂今吉田線の全線完成に向け全力で取り組んでおり本年度で全線

答 戸坂今吉田線が済み次第協議する

問 町道大畠今吉田線道路拡張を問う

改良予定となっている。

問 国道433号線獅子岩付近について

問 獅子岩付近は道路の見通しが悪く道路幅も狭い。この路線を利用される方もたくさんおられるので水路上部にグレーチングを設置するなどして安心して通行できることを望む。

答 建設課長

グレーチング設置については道路管理

の西部管理事務所等に現地調査をし、設置検討をして頂いたが、岩山の衝突防止のため水路上にラバーポール等安全施設も必要となり有効幅員が狭まることとなるため設置の効果が見えないとの回答だった。町としては局部分改良の順位を上げ引き続き要望をしたいと思っている。



藤堂 修壮

問 悪臭問題の早期解決を

答 臭気測定の実施で改善を図る

問 悪臭問題はいまだ抜本的な解決に至っていない。新町政での取り組みは、

がそれ以下でも悪臭はひどい。住民の苦悩を把握しているのか。

答 町民課長

北広島町は臭気指数の規制地域として広島県より指定を受けている。町内3カ所

臭気測定を実施し数値が15以下でも悪臭であることを事業者に示し改善を図る。

答 町民課長

町花・町木の制定を

県の9町で町花町木がないのは北広島町だけである。合併10年の節目であり町にとって必要な事項と考える。合わせ

があり地域のパトロールや事業所の立ち入りをやっているが苦情は減っていない。試料採取器を購入し、住民の協力を得て臭気測定を実施し悪臭除去に努める。

問 町の環境条例で審議会を設けて公害防止の審議をすることができ審議会を行ったのか。

答 町長

問 悪臭規制数値は15となっていて

審議会はこれまで行っていない。今後検討する。環境保全条例は公害防止に役

答 総務課長

実行委員会を今年10月上旬に立ち上げ若者や女性参加の委員会としたい。町鳥、町歌、町民憲章も併せて検討する。



蔵升 芳信

問 町民に期待・信頼される町職員に

答 職務能力を高め、信用・信頼される職員づくりに努める

問 定住促進を重要課題として取り組む本町に、町外から通勤する職員が事情はあると思うが、

実際に4分の1に当たる86人もいる。職員にこの町が好き、この町の活性化は自分たちが中心になって取り組むという

気概にやや欠けた面があるのではないか。ちなみに町外居住者の内2人しか「ふるさと寄付金」に協力が無い。あるいは、職員の地域活動への参加も少ないように思う。

そのいい住民サービスの向上が図れるとあった。しかし現状は、そのような見えない。町長公約の「明るく親切的対応」が行く政サービスの柱だろうか。本来町民が望むのは、様々な事象に的確な施策の提示、あるいは結論を早く出して納得を得ることではないか。

このためには業務研修等を通じ職務能力の向上に取り組む。また、人事異動についても検証・検討をおこなう。

なお、町外居住職員の本町への定住化は困難だが、「ふるさと寄付金」については協力を再度求める。

答 副町長

「信用いただかないと信頼に結びつかない」、この事がど



宮本 裕之

問 地域と環境を守る
「水源の里条例」の制定を

答 県とも協議し環境を守る
条例を検討する

問 過疎高齢化が
進み、水源を守
る集落機能が低下
している。集落への定

住や都市との交流、
特産品の開発の推進、
さらには環境を守る
ための厳しい条例が
必要と思うが、本町
における水源の里条
例の設置の考えは。

の強化を図ると共に、
県にも県営の産廃処
分場の設置を要請し
ていく。

**児童虐待の現状と
親子健康手帳への
移行は**

社課、保健課、教育
委員会、保育所、学校
警察と連絡を密にし
て、見守りや支援で
きるよう対応してい
る。民生児童委員と
も連携して事前に防
ぐよう対応したい。

答 企画課長
過疎化に歯止めを
かけ地域の活性化の
ため綾部市の条例に
学び取り組んでいく。

答 福祉課長
平成24年度は身体
的虐待4件、育児放
棄4件、精神的虐待
1件の9件発生して
いる。本町としては
要保護児童対策地域
協議会を組織し、福

本町の児童虐待の
現状はどうか。
母子健康手帳から親
子健康手帳への移行
の考えは。

答 保健課長
本町では母子健康
手帳の名前を変えて
はいないが、父親に
も記帳できるように
している。親子健康
手帳については今後
内容を含めて研究し
ていく。

答 町長
町、県の条例では
限界があり苦慮して
いる。環境保全条例

千代田中学校
体育館の雨漏り
はあるか、千代田運
動公園の体育館の使
用禁止の原因は何か。

問 町内には体育
施設が多くあるが、
体育館、グラウンド、
遊具は整備されてい
るか。けがなどの時
の対処はどうか。

答 学校教育課長
体育館など、使用
に困っていないが耐
震性に問題のある建
物もある。遊具は専
門家に委託している。
けがは養護教諭を中
心に対応している。

答 学校教育課長
原因がわからない
がある。早めの対応
が必要である。

答 生涯学習課長
天井材に木毛セメ
ントが使われているが、
ひびが入って落下し
たため休みにした。
今は保護ネットをし
て対応している。

問 バス通学によ
る徒歩数の減少
が体力低下を生まな
いか。地域の方との
登下校時の会話が減
らないうか。自然観察
ができなくならな
いか。

答 教育長
授業前、業間で運
動不足を補う。週休
日の地域参加を進め
る。自然観察は日頃
から興味を持つよう
仕向ける。



梅尾 泰文

問 体育施設は整備・充実しているか

答 整備されているが
修繕の必要な物もある

問 町内には体育
施設が多くあるが、
体育館、グラウンド、
遊具は整備されてい
るか。けがなどの時
の対処はどうか。

答 学校教育課長
原因がわからない
がある。早めの対応
が必要である。

問 進校の拡大、③スポ
ーツ推進員の設置な
どによる成果たろう。

答 生涯学習課長
天井材に木毛セメ
ントが使われているが、
ひびが入って落下し
たため休みにした。
今は保護ネットをし
て対応している。

問 千代田中学校
体育館の雨漏り
はあるか、千代田運
動公園の体育館の使
用禁止の原因は何か。

答 教育長
①体力向上の位置
づけ、②体力向上推

問 徒の体力向上は
県内トップであるが
要因は何か。

答 教育長
授業前、業間で運
動不足を補う。週休
日の地域参加を進め
る。自然観察は日頃
から興味を持つよう
仕向ける。



中村 勝義

問 道の駅産直農産物の生産強化策を問う

答 全町的な産直事業の活性化を図る

問 道の駅舞口―ド―C千代田第2期整備事業は、これまで多くの紆余曲折を経て10月12日グランドオープン予定となっている。産直コーナーは、売り場面積が以前の2・5倍の広さであり、産直物販コーナーの充実は欠かすことのできない要因のひとつである。農産物生産力強化に向け、次の3点を問う。

- ① 生産振興、技術指導専門員の配置は。
- ② 作付面積拡大に向けた生産振興策は。
- ③ 町内4産直施設との連携と運営体制は。

答 産業課長

① 普及員OBなど野菜生産技術を持った適切な人材確保について検討していきたい。

② 法人や大型農家への働きかけやリリース出荷に向け取り組みでいく。

③ 4産直をはじめ、他の産直施設も含めた運営者間の連携を密にし活性化を図っていく。

防災無線ときたひろネットのあり方は

問 防災無線は、大朝、豊平、芸北の3地域に設置されている。導入時の起債償還も大朝は既に完了、豊平、芸北地区も27年度未完了予定となっている。今後の取り組みは。

答 総務課長

老朽状況など十分確認を行い、きたひろネット告知放送の機能を十分活用し、必要な時に必要な情報を的確に提供できるように努めていく。



真倉 和之

問 医療費無料化と定住対策を問う

答 定住対策と併せ総合的に施策を展開する

問 中学生までの医療費無料化を表に出し、併せて定住促進を進める事だと考える。町長の公約の最優先課題を正面に据える事で、子育てと定住するのは北広島町の魅力の創出にどうつながるとお考えか問う。

答 町民課長

医療費助成制度を中学生まで拡大し、子育て世代の医療費に係る自己負担の軽減を図り、安心して子育てと定住しやすい環境づくりに取り組む。

問 千代田地域は都市化計画区域と農業振興地域に区分されているが、町外から勤務される方が定住するのに宅地と畑を購入され農振除外の申請を提出されたが、4月と10月の申請で意見聴視団体が10団体と多く隣の市は4月・8月・12月の申請で意見聴視団体は4団体である。なぜ除外申請に早く対応し、定住促進に取り組めないのか問う。

答 産業課長

農業振興地域除外申請は本町は年2回受付を行っている。

安芸高田市は年3回受付を行っておられるようで状況を調査し、実施が可能かどうか検討する。



▶ 町有千代田住宅



藤井 勝丸

問 道の駅第2期整備事業の見直し状況を問う

答 ハード事業約2千万円を削減

問 産直施設のリニューアルオープン1カ月の実績と課題は。

答 産業課長

ここ2年間の伸びより約4%上回っているが目標には程遠い。商品の充実、サービスの向上、PRに努める。

を考えている。

問 初年度の道の駅管理運営収支計画

は平成24年12月の試算では900万円の黒字、平成25年7月の試算は2700万円の赤字。その要因は。

答 産業課長

より実現可能なものに下方修正した。

問 レストラン経営者及び鳴り物で募集された前駅長は活かされているのか。

答 産業課長

適切なアドバイス

を受けている。前駅長は総務課で、今後の事業展開のためデータ分析を行っている。

問 出張販売は赤字になっていくが実態と今後の方針は。

答 産業課長

平成24年度は約500万円の赤字。効果的な方策を模索し今年度は実施する。

問 千代田中央公民館の建て替えの計画は。

答 生涯学習課長

近い将来建て替えが必要である。財政状況等考慮して検討する。



柿原 徳則

問 人員削減について

答 第3次行革大綱に反映させる

問 本町の職員数は、類似団体の平均値と比較すると格差が大きく、もつと厳しさをもって取り組むべきではないか。

答 町長

今の計画で行財政の改革をしていくという計画の中でそういったものはキチッと盛り込まれていると思っっている。ただ、千人当たりの職員数が10・82人というのが類似団体の比較の中では、本町の数字だと認識している。地域的に面積がかなりあり、支所も抱え

て広いエリアで活動していかねければならない。いずれにしても危機感をもって今後取り組んでいかねければならないと感じている。

問 到達目標・時期を明確にし、

答 町長

キチッと決めてみんな一丸となって取り組まないと達成できないのではないかと。平成22年度から5年間の第2次行革大綱で30人の削減をする計画で進んでいる。平成27年度からどう取り組むのか、計画を

立てる時期に来ており、人員削減も財政規模が縮小する中で、ある程度行っている程度ではないと認識している。住民サービスをどの程度どこまでやっていくのか、民間への程度委託していくのか、いろいろ総合的に見直していく必要がある。そういう面で目標値をキチッと決め、次の第3次行革大綱になるかもわからないが、進んでいきたいと思う。



大林 正行

問 国道261号線の安全対策は

答 解決すべき問題と認識し
引き続き取り組む

問 国道261号線本地地区で交通死亡事故が多発している。さらにハード的な対策が必要と考

え質問する。国道261号線における交通事故の発生状況は。

答 総務課長

平成17年から25年8月までの261号線の死亡事故は7件。死亡事故発生率は非常に高いと認識している。

問 国道261号線の本地地区のみが

追い越し可能路線となっている。少なくとも民家のある場所は追い越し禁止にできないか。

答 総務課長

山県署の話では、本地地区は見通しが良く直線でもある。両側に歩道がある。住宅密集地ではないので追い越し禁止にするこ

とは非常に難しい。

問 本当に解決しようと思ってい

るのか。

答 総務課長

解決しなければならぬ問題と認識している。引き続き取り組む。

問 明神峠の横断歩道の手前に注意を促す看板を設置

できないか。

答 総務課長

警察とも相談してやりたい。

問 有田地区の高速道路が交差する

変形交差点に信号機を設置する考えは。

答 総務課長

前から信号機を付けてほしいと言われているので、警察にお願いする。

問 千代田中学校前の通学路にスクールゾーンを設置

することはできないか。

答 総務課長

危険な状態と思う。検討する。



森脇 誠悟

問 若者が地域活動でできるしくみづくりを

答 若者のニーズ把握をおこなう

問 社会教育の立場から、青年会・青年学級・講座等の

若者が交流できる場をつくる必要はないか。そうした交流・仲間作りが地域参加・行政参加・出会い・婚活につながると思う。

答 生涯学習課長

若者を対象にした教室等は開催していない。町づくりには若者の力は必要であり、今後若者のニーズ把握を行い、それに沿った交流の場を設定したい。

問 本町は、県内市町の中では早く不妊治療助成を

実施しているが、増額する考えはないか。

答 保健課長

県に合わせて助成

答 企画課長

今年度も助成しており、今後も支援していきたい。

答 企画課長

不妊治療・不育症治療の助成を

県内では2町が助成をしている。本町も実施に向け検討したい。

答 保健課長

県内では2町が助成をしている。本町も実施に向け検討したい。



▲婚活イベントのポスター



中田 節雄

問 道の駅オープンに向け
受入れ体制は整うのか

答 新聞ラジオ等でPRし
地域に出荷依頼している

問 道の駅のオープ
ンをどのように盛
り上げていくのか。

答 産業課長
紅白餅を準備してい
る。数量は未定である。

答 産業課長

あらゆるマスコミを通
じてPRをし、周辺には看
板等で事前周知をしていく。

問 オープンイベン
トを盛り上げるた
め屋外テントでファ
ーストフードの販売は予
定されているのか。

答 産業課長
イベント広場において、
テントを設営し、出展者
に協力依頼をしている。

問 製品の集出荷体
制は確保できてい
るのか。

答 産業課長
町内の出荷者の方に
依頼しており、出荷計画
も提出いただいております。
オープン頃には多品目
の産品が確保できる。

問 舞ロードの年間
行事予定、地域ごと
のイベント、産直市の連
携等の情報発信はどうか。

答 産業課長
管理棟に観光協会に

問 来場者への粗品は
準備されているのか。

答 産業課長
入所して頂き、各種の情
報を提供していきたい。

問 合併10年後の
地方交付税の
特例縮減への対応は
どうなっているのか。

答 財政課長
現在と比較すると14
億円程度の減額が考え
られる。財政規模は1
30億円程度と推定さ
れ、非常に厳しい財政
運営となるため、今以
上に事業の選択と集中
が求められる。

問 合併10年経過後
の5年間で交付税
は段階的に減額され
てくるが、将来の財政規模
はどれくらいが適正規
模と考えるのか。

答 財政課長
「政策立案室」で
抜本的対策をとる
べきではないか。

問 「政策立案室」で
抜本的対策をとる
べきではないか。

答 町長
来年度から本格的な
集落対策を打つ。集落支
援員もその一つ。



美濃 孝二

問 集落支援員の配置など
抜本的な過疎対策を

答 配置含め来年度から
本格的対策を打つ

問 5年前より65歳
以上が過半数の集
落が2割から3割に増え
集落維持が極めて困難
になっている。そのため
総務省は集落支援員の
設置1人350万円の
特別交付税を講じたが、
北広島町のとりくみは、
どうか。

答 企画課長
加入するかどうか検
討していく。

答 町長
過疎対策を無にする
TPPから撤退の先頭に
立ってほしい。

問 TPPは農業だ
けでなく医療や地
域を崩壊させる。研究者
の試算では北広島町は
県内で2番目に農業の

答 町長
多くの方には理解し
てもらった。運用面で参
考にさせてもらう。

問 過疎対策は町単
独では困難であり、
関係機関との連携が必要。
神石高原町は他自治体
や研究者と「地域サポー
ト人ネットワーク」全国
協議会を設立し総務省
と連携し取り組んでいる。
北広島町も参加しては
どうか。

答 町長
関税撤廃は農村を崩
壊させ許すことはでき
ない。農業団体等とも協
議し運動を広げていき
たい。

答 町長
温水プールアンケート
回答160件
どう受け止めるか

答 町長

多くの方には理解し
てもらった。運用面で参
考にさせてもらう。



浜田 芳晴

問 道路の長寿命化を問う

答 支所の地域協議会で優先順位を

問 オーバーレイ(長寿命化)各支所の状況は。

答 各支所長

要望が多く満たされていない。豊平地区は特に南の地区が悪い。

問 補修費は約600万円で支所の答えではオーバーレイの予算を拡大する必要があり、地域協議会で優先順位を考え、支所で工事発注する仕組みを考えてはどうか。

答 建設課長

3工区に分けて改修工事をするも補修は課題として検討する。

問 「やってほしい建設計画もやってくれん」と町民に思わせない政治、支所機能を充実の課題として協議会と協議

答 建設課長

現在は本庁発注。今後の課題としたい。

問 南地区が悪い例として瀬山萩原線は今年から工事が始まるも十文字に

答 町長

支所機能を高める意味で支所が地域の事はよく知っているので、協議会と協議して優先順位を考慮してもらえると嬉しい。

借金を残さないことが必要なのでは。

直して、箱物政治を見直して、生活のため

要か考え、子どもにも必要なのではないか。

※オーバーレイとは既存の舗装面上に直接アスファルト舗装を施工する工事。



久茂谷美保之

問 人口増加の政策は

答 政策立案室で対応

問 現在本町では、若者定住促進事業、住宅補助事業に取り組んでいるが、人口は自然動態により年々減少している。今後の取り組みは。

答 町民課長

出生の人数より死亡の人数が上回っており、年々自然減となつている。また、転出による人口減少もある。来年度も引き続き若者定住促進事業等、取り組み・総合的な対応を政策立案室にて検討を行い、子どもたちが残りたいまちづくりを目指す。

問 デマンドタクシーの営業時間の見直しは

答 企画課長

芸北地域の住民がバスを利用して広島市内や安佐市民病院などへ出かける場合、芸北支所発午前6時55分の始発バスがあるが、デマンドタクシーの営業時間が午前7時からで、始発バスに乗りできない。また芸北地域には、民間のタクシー会社がないため不便を感じている。

町内の営業時間は、月曜日から金曜日で午前7時から午後6時までとしている。芸北地域には民間のタクシー会社もない事は理解する。内部で検討し対応していく。

デマンドタクシーの営業を早めることはできないか。



▶ デマンドタクシー



田村 忠紘

問 借金比率と町預金の見通しは

答 更に健全化を目指す

問 目標である実質公債費比率(借金

の比率)の目標値を1年前倒しして達成できたが、今後の見通しを問う。

財政調整基金(町預金は現在、16億5410万円で、平成24年中に2億5170万円の上積みができた。今後の目標を問う。

答 財政課長

実質公債費比率は、類似団体31町の平均が14・4%であるので当面そこを目指す。

基金は、近隣5町の標準財政需要額に対する割合の平均が28・4%であるが、



▲万徳院から林道を望む

本町は13・6%と低位にある。これからも余剰金の積み立てに努力する。

答 建設課長

この路線の重要性は認識している。町道認定を含め検討したい。

問 林道海応寺線を観光道路として町道に格上げし早

期整備を。

がんばってます

千代田地域

本地保育所

(53人)

本地保育所は、南に海見山、西に猿喰山、その裾野を走るパイパス沿いにある北広島町内で広島市に一番近い位置にある保育所です。現在53人の子も達が在園しています。

本地保育所のめざす子ども像は、たくさんの人との関わりの中で、うれしい体験、楽しい体験、さまざまな体験を通して「元気な子」心身ともに健康な子ども、「やさしい子」思いやりのある子どもに育てたいと願い保育しています。

子ども達は、5歳 年長児になると月に2回、上田宗箇流の地域の先生をお招きしてお茶の稽古を行っています。先月のお月見会では、子ども達が老人クラブの皆さんにお茶をお運びして喜んでいただきました。

お茶の作法を習って「お手前ができるようになる」ことがねらいではなく、お茶の作法からお茶碗を両手で持つことは、物を大切にすることやお茶をいただくときに「ちようだいします」「お先」の言葉の中、「

人を思いやる・人を大切にするなど、たくさんのことを学んでいます。

今月は、食育をテーマに保育参観日「親子クッキング」を予定しています。食材のメインは、味覚の秋サツマイモです。このサツマイモは、地域の方に土づくりや草刈りをしていただいたり、本地小学校の1・2年生と苗を植え、暑い中皆で草取りをして育てたサツマイモです。

収穫の日にも、小学生の皆さんの力を借りました。

保育参観日は、子ども達とお家の人の笑顔いっぱい親子クッキングになることでしょうか。楽しみです。子ども達の笑顔を地域の皆様にお伝えできてとても嬉しく思っています。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



▲「イモ、とったぞォ〜！」

がんばっています

大朝地域

新庄保育所

(27人)

保育方針「豊かな感性をもった、たくましい子ども
の育成」のもと、地域に根
差す郷土芸能の取り組みな
ど地域との関わりを大切に
する中で、皆様に温かく接
していただき、園児の成長
とともに喜びあえることに
感謝しております。

その中で、今回は、青少
年育成推進協議会大朝支部
との取り組みを紹介します。
10月に大朝地域の皆さんと
園児・児童・生徒が「一斉
清掃ボランティア活動」に
参加しました。園児達は、
お散歩コースに沿って出発。
普段からきれいにしてい
だいている地域の中でゴミ
を探すのは大変でしたが、
草の中の小さな「ミ」が付
き、「これもゴミかね」「こ
こにもあったよ」と楽しそ



▲ゴミひろいをした3才~5才児

に活動していました。ゴミ
を仕分けしながら、燃えな
いゴミ・燃えるゴミ・土に
還るものなどがあることに
気づき、環境についても考
える機会になったようです。
また、新庄小学校の皆さん
の活動を見て「ありがとう」
と声をかけている姿もみられ
この活動を通して「きれい
になってよかったね」「気
持ちはいいね」などの声が聞
かれ、自分たちの住む地域
を大切に地域で健やかに育
ってほしいと願っています。

表紙の写真

去る10月3日、千代田運動公園において
平成25年度山県郡小学校陸上記録会北広
島会場が開催され、町内全小学校の5・6
年生339人の児童が参加しました。



「挑戦！・競つ！・つなぐ！」のテーマの
もと、50m走、走り幅跳び、ソフトボール投
げ、400mリレーが行われ、児童は自分
の記録を少しでも更
新できるよう一生懸
命挑戦をしていました。
町内児童の体力は、
県内平均よりは上位
と言われていますが、
屋外で遊ぶ機会が少
なくなっている昨今
です。こうした大会
を通じてより運動に
親しんでほしいもの
です。

【訂正】

きたひろしま議会だより vol.33号

- ・4ページ 写真の説明箇所
- ①「町道七曲千代田線」→②「県道七曲千代田線」
- ・20ページ 問い見出し・写真説明
- ①「県道千代田七曲線」→②「県道七曲千代田線」

あとがき

今年も各地で過去に例のない水
害が発生し大災害となった。現場は
強い恐怖と一歩間違えば命を落と
す事態であったと推察する。10月初
め山口県を訪れた。萩市近郊から津
和野方面に田万川沿いを走ってい
て絶句した。7月の豪雨災害現場が
現れたからだ。高さ8から9メー
トルはある橋桁の上に流木が山のよ
うにせき止められ、橋の3分の1は
跡形もない。川岸には民家があり、
濁流が家の中を貫通した家も見える。
道路端には流された建物が横倒し
になっていた。私は一瞬鳥肌が立っ
た。我が町も過去に苦い経験があり
2度と災害があつてはならないと
改めて感じた。日ごろの訓練と心構
えを持ち、安全な町づくりが必要と
思う。

【ご意見や提案の連絡先】

050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】

- 議長 加計 雅章
- 【議会広報特別委員会】
- 委員長 宮本 裕之
- 副委員長 美濃 孝二
- 委員 藤堂 修二
- 委員 森脇 誠悟
- 委員 柿原 徳則
- 委員 伊藤 久幸
- 委員 大林 正行